

市川市議会 90 周年記念事業

小・中学生作文コンクール

【テーマ】「私たちの思いを、未来へつなごう！」

～私が思う？年後の市川市。その実現に向けてできること、したいこと～

《ごあいさつ》

市川市の児童、生徒の皆さん！私たち市川市議会は、市川市の児童生徒の皆さんに、市川市の未来・自分の未来を自由に想像し、その実現に向けて「今、自分ができることは何だろう」と考えてほしいと願い、「小・中学生作文コンテスト」を開催することにしました。私たち市川市議会は、皆さんの作文をよく読んで、今後のまちづくりに生かしたいと考えています。よろしくお願いします。

〈作文の書き方のヒント〉

- ①まず、市川市の何年後の、どんな未来について想像したのか教えて下さい。思いつかない人は、【例えばこんな分野の市川市の未来！】を参考にして下さい。
 - ②次に、みなさんの想像した未来の様子をなるべく詳しく教えて下さい。
 - ③最後に、皆さんが想像した未来に向けて、自分はどのようなことができるのか、またはどのようなことをしたいと考えているか教えて下さい
- 【例えばこんな分野の市川市の未来！】
- ・スポーツについて・小学校や中学校について・自然について・商業や農業について・芸術について・防災について・健康について・市川市の歴史と伝統について・住んでいる地域のことについて・SDGsについて

【募集締め切り】令和6年9月6日

【部門・応募資格】 ・小学生の部（4年生以上）

・中学生の部 ※いずれの部門も市川市内在住または在学者

【募集作品】 ・400字詰め縦書き原稿用紙（B5版）2枚以上～3枚以内

・作品は1人1点。自作、未発表のもの・作品の冒頭に、題名、学校名、学年、氏名を明記

【応募方法】

- ・市川市公立小学校・中学校の場合は、学校の指定日までに学校に提出
- ・市川市内私立学校通学者、及び市内在住で市外私立学校通学者は、市川市議会事務局に郵送
郵送先：〒272-0021 市川市八幡1丁目1-1 市川市議会事務局議事課宛

【表彰（小学生の部・中学生の部）】

市川市議会議長賞 市川市議会副議長賞 など

【表彰式】 日時：令和6年11月10日（日）10時 会場：市川市議会 議場

【著作権等について】

- ・受賞作品の著作権はご本人に帰属しますが、著作権は主催者に帰属します。
- ・受賞作品については、出版物、ホームページ、イベント、宣伝などで二次利用する場合があります。別の目的で使用する場合は、応募者の了承を得た上で使用します。
- ・第3者への個人情報の提供は致しませんが、応募作品の結果を公表する際に、受賞者の氏名・学校名・学年は公開します。

【主催】市川市議会 【後援】市川市教育委員会 市川市公立小・中・義務教育学校校長会

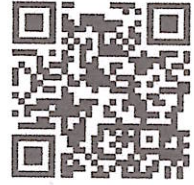
<div style="border: 1px dashed black; height: 800px; width: 100%;"></div>	名前(ふりがな)	学校名 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 年 組
	記事見出し	新聞名 月 日 <input type="checkbox"/> 朝刊 <input type="checkbox"/> 夕刊
	タイトル	

文部科学省後援 読書感想文

令和6年度 **第48回**
てのひら文庫賞

募集
要項

全国コンクール



▲HPへアクセス

本コンクールの趣旨 **読書力と表現力の高揚をめざして...**

読むこと、書くことは、国語教育の大切な内容ですが、特に作文力を強化することは、現代の重要な課題として要請されています。当研究所では、読書力の育成と子どもの書く力をも併せて高揚されることを念願し、この読書感想文コンクールを実施いたします。

締切
9月20日
必着

応募規定

- 1. 応募資格**
小学校児童
・特別支援学校を含みます。
・海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設を含みます。
※作品の個人応募は受け付けておりません。必ず在籍校を通じて応募ください。
 - 2. 応募部門**
■てのひら文庫部門
「てのひら文庫」(文溪堂発行)の学年配当指定図書感想文
※他社発行の同作品も含みます。
■自由図書部門
「てのひら文庫部門」以外の児童向け図書の感想文
※「ふれあい文庫」(文溪堂発行)は自由図書部門に含みます。
●児童1名に1点の応募とします。
※ただし、「てのひら文庫部門」「自由図書部門」それぞれに、1名1点ずつの応募はできません。
 - 3. 応募作品**
●日本語で書かれた作品に限ります。
●他の類似のコンクール等に応募した作品は除きます。
●指導のための添削・評価等が記入されたままの作品は除きます。
- 縦書き、自筆とします。(コピー、ワープロは不可)
※自筆できない場合は理由を添えてください。
 - 所定の「応募票」と「応募申請用紙」を添付してください。
 - 応募作品の著作権は当研究所に帰属します。
 - 応募作品は理由を問わず返却いたしません。
 - インターネットからのダウンロードや他の作品の複製、過度な引用、生成AIの回答の部分を含む利用等が発覚した時点で、審査対象から除外いたします。
- 審査基準**
- 作品が十分読みこなされていて、感想に対して根拠があること。
 - 文章が平明であり、自分のことばになっていること。
 - 書かれた主旨が明確であり、しかもそれは学年相応のものであること。
 - 文章は筋が通っていて、聞く人や読む人に対して説得力があること。
 - 感想の観点が、その人の個性的なものであり、かつ、それはまた素直なものであること。
- 詳細は裏面「応募時の注意事項」をご参照ください。

賞 ※参加賞の設定はございません

個人賞	文部科学大臣賞 3名 (両部門の最優秀賞 (低・中・高) 賞 賞状とメダル・副賞)	石森延男賞 1名 (賞状と色紙 (額入り))
最優秀賞 12名 (てのひら文庫部門 (各学年 1名) 賞状とメダル・副賞)	優秀賞 12名 (てのひら文庫部門 (各学年 1名) //)	優良賞 36名 (てのひら文庫部門 (各学年 3名) 賞状と副賞)
佳作賞 120名 (てのひら文庫部門 (各学年 10名) //)	奨励賞 240名 (てのひら文庫部門 (各学年 20名) 賞状)	
学校賞	最優秀校 1校 (賞状と盾・副賞)	優秀校 3校 (//)
	優良校 5校 (//)	奨励校 賞状

※「石森延男賞」は、小学校6年間を通して、多くの優れた感想文を書いた児童に贈られます。

※奨励校の数は、当コンクールの審査基準に照らし合わせて決定いたします。

中央審査委員

委員長	田中 宏幸
委員	岩崎 京子
	澤本 和子
	藤田 のぼる
	石井 睦美
	阿部 藤子
	稲井 達也

(所属、役職名等は令和6年4月1日現在)

締切・あて先・入賞者発表

- 1. 応募締切日** 令和6年9月20日(金) 当日必着
- 2. あて先** 一般財団法人 総合初等教育研究所 全国コンクール係
〒501-6238 岐阜県羽島市江吉良町江中7-1 電話(058)398-6633
- 3. 入賞者の発表** 令和6年12月9日(月) 日本教育新聞紙上(予定)

表彰の方法

- 方法** 各受賞校にて表彰
※対象者の学校へ当研究所事務局が伺い、賞状・賞品をお届けいたします。
- 日** 令和6年12月10日(火)から令和7年3月上旬の間
※事前に日程調整させていただきます。
- 対象者** ・個人賞の文部科学大臣賞の受賞者
・学校賞の最優秀校の代表者 (予定)
※その他の入賞者・入賞校は、賞状・賞品の発送をもって表彰に代させていただきます。

応募時の注意事項

- ◎感想文を応募していただくときには、特に次の①～⑤の事項についてご注意ください。
- ◎③に必要な「応募票」「応募申請用紙」は、右ページに掲載してあります。
- ※必要数を原寸大でコピーしてご利用ください。

審査基準

- 作品が十分読みこなされていて、感想に対して根拠があること。
- 文章が平明であり、自分のことばになっていること。
- 書かれた主旨が明確であり、しかもそれは学年相応のものであること。
- 文章は筋が通っていて、聞く人や読む人に対して説得力があること。
- 感想の観点が、その人の個性的なものであり、かつ、それはまた素直なものであること。

1 字数など

- ・400字詰め原稿用紙に縦書き、自筆とする。(コピー・ワープロは不可)
- ※1年は240字詰め原稿用紙も可

- 1年 400字～1200字以内
- 2年 800字～1200字以内
- 3・4年 1200字～1600字以内
- 5・6年 1600字～2000字以内

- ・題名、学校名、学年、名まえ及び、そのための空白は字数に含む。
- ・改行のための空白は字数に含む。
- ・句読点等は字数に含む。

2 原稿用紙の使い方

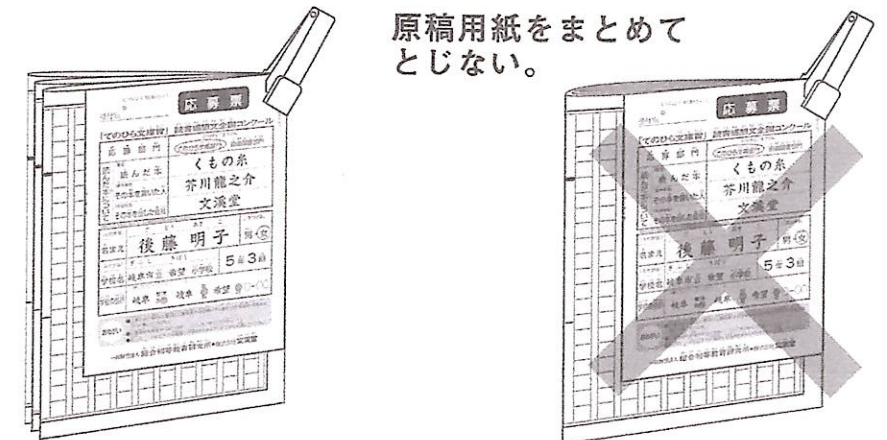
- ・第1行目に「題名」を書く。
- ・第2行目に「学校名」「学年」「名まえ」を書く。※長くなる場合は2行も可
- ・次の行から作文を書き始める。※文字は原稿用紙のマス目に書く。

3 応募票・応募申請用紙(右ページに掲載)

- ・「応募票」に必要事項を記入し、作品と一緒にとじる。
- ・「応募申請用紙」に必要事項を記入し、作品と一緒に送る。

4 原稿用紙のとじ方

- ・1枚1枚、原稿用紙の表面を外側にして二つに折る。
- ↓
- ・折った原稿用紙を順番に重ねる。
- ↓
- ・作品の一番上に「応募票」を添付する。
- ↓
- ・右肩をとじる。



原稿用紙をまとめてとじない。

5 応募された作品について

- ・作品は返却いたしません。必要に応じてあらかじめコピーなどをおとりください。

おう ぼ ひょう
応募票

※作品の返却はいたしません。必要に応じて
あらかじめコピーなどをおとりください。

ホチキス(HOCHIKI)製


「**てのひら文庫賞**」 **読書感想文全国コンクール**

応募部門		どちらかに○をつけてください。 てのひら文庫部門 自由図書部門
読んだ本について	(書名) 読んだ本	
	(著作者名) その本を書いた人	
	(出版社名) その本を出した会社	

※下記個人情報は、当コンクールの運営目的以外には使用いたしません。

学校の住所	(〒272-0004) 千葉 都道府県 市川 区市郡 原木 町村 2-16-1
(ふりがな)	いちかわし しんとく
学校名	市川市立信篤小学校 年 組
(ふりがな)	
名まえ	

おねがい

- 入賞された場合は、賞状と入賞発表の元原稿になりますので、学校名、名まえは正しく書いてください。
- 入賞発表時に名まえを出したくない方は()に○をつけてください。→ ()
- 右上の  のところで、応募票と作品をホチキスでとめてから、応募してください。

一般財団法人 **総合初等教育研究所**・株式会社 **文溪堂**

第70回全国青少年読書感想文コンクール(千葉)応募票

支会番号	8	市川支会	自由・課題
区分	小低・小中・小高・中学校		
感想文の題名			
所	(ふりがな) 学 校 名 千葉県 郡 市町村立) 学校名にもすべて ふりがなをつけてく ださい	千()	学校)
属	学校所在地 電話番号 担当者名	TEL: () (担当格)	()
応募者	応募区分・学年 (ふりがな) 氏 名	小低・小中・小高・中学の部)	第 学年) 男・女
対象図書	書 名		
	作者・著者		
	シリーズ名		
	発行所・発行年	発行所	発行年 初版発行年
定価・大きさ ページ数	定価 (本体 円)	縦の長さ (mm)	ページ数

※ 本用紙は必ずこちらのサイズ(A5版)で印刷・提出をお願いします。
 ※ わかりやすく横書で記入して、作品の右上に「フリック」で添付してください。
 ※ 学校名・学校所在地は(郡)市町村立から書いてください。
 ※ 応募票に記入された作品・対象図書名、および、氏名・学校名・学年は、主催者の刊行物やWebサイトに掲載することがありますことをご了解のうえ、ご記入ください。

第70回全国青少年読書感想文コンクール(千葉)応募票

支会番号	8	市川支会	自由・課題
区分	小低・小中・小高・中学校		
感想文の題名			
所	(ふりがな) 学 校 名 千葉県 郡 市町村立) 学校名にもすべて ふりがなをつけてく ださい	千()	学校)
属	学校所在地 電話番号 担当者名	TEL: () (担当格)	()
応募者	応募区分・学年 (ふりがな) 氏 名	小低・小中・小高・中学の部)	第 学年) 男・女
対象図書	書 名		
	作者・著者		
	シリーズ名		
	発行所・発行年	発行所	発行年 初版発行年
定価・大きさ ページ数	定価 (本体 円)	縦の長さ (mm)	ページ数

※ 本用紙は必ずこちらのサイズ(A5版)で印刷・提出をお願いします。
 ※ わかりやすく横書で記入して、作品の右上に「フリック」で添付してください。
 ※ 学校名・学校所在地は(郡)市町村立から書いてください。
 ※ 応募票に記入された作品・対象図書名、および、氏名・学校名・学年は、主催者の刊行物やWebサイトに掲載することがありますことをご了解のうえ、ご記入ください。

読書感想文

Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」

「どんな本を読んだらいいかわからない」

そんな声にお答えします。

さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのですか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみてください。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのかわかり、自分が一番言いたいことは何なのかわかりってきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギかっこ）でくくりましょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中にあふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

末尾欄外に
書名・著者名・出版社名を記入。

本文
↓

※例
『じゅげむの夏』
最上一平作・ママイケダ 絵
佼成出版社

20 × 20 = 400

最後の行まで書けるとよいです。

感想文の題名
○年・性別
※学校名、氏名は原稿用紙に書かない。応募票に記入する。

読書感想文 Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」
「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみてください。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられる……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいですよ。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいですよ。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギかっこ）でくくりましょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中にあふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

第70回青少年読書感想文全国コンクール応募要項(抜粋)

📖 対象図書

○課題読書

主催者の指定した図書(課題図書)。
同一部内における学年指定はありません。

○自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。
*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌(別冊付録を含む)、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。
*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、点訳・音訳したものの情報を添えてご応募ください。

📖 応募資格および区分

応募者の年齢は満20歳まで(2004年4月2日以降に出生の者)とします。
応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- ①小学校低学年の部(1、2年生)……………課題読書・自由読書
- ②小学校中学年の部(3、4年生)……………課題読書・自由読書
- ③小学校高学年の部(5、6年生)……………課題読書・自由読書
- ④中学校の部……………課題読書・自由読書
- ⑤高等学校の部……………課題読書・自由読書

*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

📖 用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

②文字数については下記のとおりです。

- 小学校低学年の部(1、2年生)……………本文 800字以内
- 小学校中学年の部(3、4年生)……………本文 1,200字以内
- 小学校高学年の部(5、6年生)……………本文 1,200字以内
- 中学校の部……………本文 2,000字以内
- 高等学校の部……………本文 2,000字以内

③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

📖 応募作品

①応募は日本語で書かれた作品に限ります。

②応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

③応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

④盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

⑤入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

📖 応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクール Web サイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

📖 作品と氏名等の使用・公表と著作権 ※ご了承のうえ、ご応募ください。

①応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。

②入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物や Web サイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。

③入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

📖 作品提出

本コンクールに学校として参加するか否かは各学校の判断に委ねられています。まずは、在籍校に本コンクールへの参加有無をご確認ください。

*詳しい要項は青少年読書感想文全国コンクール Web サイトをご覧ください。
公式ホームページ <https://www.dokusyokansoubun.jp>

読書感想文 Q & A

さあ、キミも
書いてみよう!



●主催 公益社団法人 全国学校図書館協議会 毎日新聞社

●お問い合わせ 青少年読書感想文全国コンクール事務局
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館 毎日企画サービス
TEL 03-6265-6813 (土日祝日を除く平日の午前10時~午後5時まで)



<https://www.dokusyokansoubun.jp>